

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
りずむ		R7年 2月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・現状は適切であると判断している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用者の状況で少し難しい場面もあるが、支援者が状況に応じて配置を変えて対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・少しずつ環境整備をしている。 ・バリアフリー化をしていないので動線で危険箇所は個別で支援者が注意している。	・環境整備の定期的見直しが必要 ・トイレの位置など分かりにくいので表札などが必要 ・玄関前や二階への階段や段差がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・物をエリアごとに分けて、どこに何が置いてあるかを分かりやすいように仕分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・二階を使ったり、和室の襖を開めたりと臨機応変に対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・年に二回、自己評価あり	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・2週間に一回程度のミーティングや年に2回の面談を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・第三者の外部評価を行い、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・社会福祉協議会等の研修の参加を行っており、研修受講後は事業所内ミーティングでフィードバックを行うなど全職員へ周知している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムの作成と公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・児に対しては通常の活動の中、保護者に対しては年に二回の面談（モニタリングも含む）と送迎時に話をする事で保護者のニーズや課題をあげ、個別支援計画に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・様々な事を検討するために、都度ミーティングを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画を立案後に、全職員が共通理解をするためにミーティングを実施する。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・様々な職種が専門的支援を行うためにチームで立案している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動プログラムは児の興味・関心に合わせて職員同士で話し合い様々な事を取り入れて行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団活動を主にし、リハビリ専門による個別活動も適宜行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝利用者確認の際に利用者の状態や気になる点などを共有し、活動内容や支援内容を確認し、役割分担まで話し合いを行時間をとっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・気づいた点や気になった点を、終了後に話し合い全職員へ共有する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の記録は常時行っている。職員から支援に対し問題提起があった場合には、都度話し合い改善する努力を行っている。	・新入職員に対して記録の記載方法などを丁寧に教える時間を設ける必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・常に児の意見を聞くように職員は意識をもって接している。様々な場面で自己決定を行うよう支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・事業所の協力医療機関を設定している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・各学校と情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童発達支援事業所に情報をいただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・障害福祉サービス事業所へ移行時には情報提供を実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・現在地域の児童発達支援センターとは連携が取れていない為、必要に応じて連携を図っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・現在地域の地域の児と交流機会はないが、必要に応じて交流の場を設けていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・現在は協議会等への参加はしていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時など保護者と話をする機会を設け、現在の状況を話をする場を設け共通理解を持てるように心がけている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・支援の仕方をお伝えしたり施設外の研修の案内を保護者にしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・保護者同意のもと支援を行うために、面談時には丁寧に説明を実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個別支援計画を保護者へ説明後、同意をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・家族の悩み等には適宜対応し、助言や必要に応じて面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・今年度は保護者会の開催は実施していない。来年度に実施する予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情対策に対しては研修に参加し、全職員へ周知して、迅速かつ適切に対応できるように共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・今年後よりHPやSNSを開設している。昨年度から引き続き月報も作成して、日々の情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・通常の個人情報へ加えて、SNS等での個人情報の取り扱いにも十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・児や保護者に対してしっかりと情報を伝達できるよう話し方などに工夫して配慮している。	・児から保護者への伝達が難しい場合には職員からも声掛けするなど臨機応変の対応が必要。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・今年度は地域との関わりはなく実施していない。来年度は検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各自対策委員会を設置し、マニュアルの作成を行っている。	・職員間での共有だけではなく保護者への共有も定期的に必要な。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年に3回避難訓練（地震・火事を想定）を実施している。	・保護者へ周知するためにSNSや月報などを利用を検討している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・児の状況の把握は保護者と連携を取り都度確認を取っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーの対応は行っている。	・食物アレルギーなど医療的対応が必要な場合には安全委員会で学期ごとに確認を実施する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・職員は送迎時や活動などでは十分注意している。また児へも安全面の話を場面ごとに行うなど支援している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・軽微な案件に関してもヒヤリハットを作成共有し、再発防止に向けた方針を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止に対しての研修に参加し、全職員に周知して、適切に対応できるよう心掛けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束に関しては事業所内でも深く検討し、保護者の承諾ものを行うと取り決められている。	